

2020 年度実施概要

学校名

愛知県蒲郡市立西浦小学校

採択活動名

地域とともにかかわり，豊かに生きる子の育成
 (採択時は「地域を見つめ，学びに向かう子 ～伝えたくなる子、聴きたくなる子の育成～」)

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 海、たのしい!	1年	生活科
2. 生きもの はっけん	2年	生活科
3. ようこそ すてき館へ	3年	国語・総合
4. 発見! 西浦の海	4年	国語・総合
5. 知りたいことを聞き出そう	5年	国語

取り組みの概要

1年

海で遊び，波や貝殻，砂等，海そのものに触れる時間をたくさんとった。西浦の海は，たくさんの種類のきれいな貝殻やシーグラスなどがあることを知った。これらを使って，図工の授業で思い思いの作品を作り，国語科「なにに見えるかな？」の学習を行った。また，きじっ子作品展には，各自が描いた魚と皆で拾ってきた貝殻で，大きな海を表現した。

2年

漁港やそこで働く人の秘密を探りに出かけた。西浦の町には漁港があり，たくさんの種類の魚が水揚げされ，早朝の市に遠くから買いに来る人がいることや，学区には魚介類を扱う仕事で生計を立てている人がいることを知った。また，海で見つけた生き物を飼育したり，観察をしたりした。図工では，漁港や学区の料理屋からもらったタカアシガニの甲羅を使い，お面作りを行った。

3年

漁協さんの協力の下，アマモの種の植え付けをした。その後，西浦の海にはどんな生き物が住んでいるのか，実際に見たり，触れたりした。自分たちの手で捕まえてみたいと，海に出かけ，生き物を捕まえ飼育した。自分が大切に育てている生き物を下学年に見せたり教えてあげたりしたいという思いから，国語の授業で招待状を書いた。単元の最終段階で生き物を海に帰すとき「元気でいてね」と声かけする児童もおり，西浦の海の生き物にたっぷりと触れ，愛着をもったことがうかがえた。

4年

海の抱える問題に目を向け，問題点を見つけ，解決するためにはどうしたらよいか考え活動した。子どもたちが一番に取り上げた問題点は，浜辺や岩場に流れ着いたたくさんのゴミであった。ゴミはどこからくるのか，ゴミが海を漂っている間になにがおこっているのかなどについて，本やネットで調べたり，専門家とオンラインで教えてもらったりした。そこで自分たちにできることとして，①自分たちの手で拾う②多くの人に呼びかけることを考えた。②については，「海を大切に」と呼びかけるミニポスターの入ったティッシュ配布やホームページに載せる方法をとった。子どもたちが「ふるさとの海を大切にしたい」という思いが育った。

5年

社会で水産業について学んだ。自分たちの住む町が「水産業」に深く関わりがあることを，もっと身近に感じてほしいという思いから漁業協同組合の方を招き，インタビューを行った。インタビューを通し聞きたいことを聞く力をつけるとともに，ふるさとの水産業について触れることができた。

活動中の写真

1年「海で遊ぶ」



図工作品「海の魚（下に貝殻を敷き詰めた）」



2年「漁港近くの商店にて」



3年「自分が飼育している生き物の様子を紹介」



3年「アマモの種の植え付け」



4年「ゴミ拾い大作戦」



デジタルデータにて2~3枚の添付をお願いします。

(本ファイルへの貼り付け、別ファイルでの添付、どちらでも構いません)